

令和4年度 第2回川崎市社会教育委員会議日本民家園専門部会 会議次第

日 時 令和4年7月31日(日) 10時～12時

会 場 日本民家園 旧原家住宅 2階大広間

1 開会

- ・園長挨拶
- ・会議成立の確認
- ・配布資料確認

2 報告事項

- (1) 指定管理者公募の進捗について
- (2) 民家園の近況について(新型コロナの影響、企画展・イベント等)

3 議事

- ・令和5年度事業計画について

4 その他

- ・今後の予定
 - 4年11月 第3回部会 園内視察
 - 5年3月 第4回部会 令和4年度事業評価について

5 閉会

【配布物】

令和5年度川崎市立日本民家園事業計画・評価シート

日本民家園 展示建造物耐震補強・屋根修理工事 実施及び計画表

民家園だより vol.96

日本民家園収蔵品目録8補遺『旧伊藤家住宅』

令和2・3年度川崎市教育委員会議 研究報告書

生田緑地スタンプラリー台紙

川崎市社会教育委員会議規則

日本民家園 展示建造物耐震補強・屋根修理工事 実施および計画表

年度 西暦	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035				
補助事業	国庫									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	県補助							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	計 (委員会を除く)	2	3	2	3	2	2	3	4	6	2	6	4	4	4	6	4	6	4	3	3	2	3	1	1				
事業内 数 訳	診断	2	2	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	1	1	3	0	3	1	0	0	0	1	0	0				
	委員会	2	3	1	2	1	0	1	1	3	1	2	0	1	1	2	4	1	3	2	1	1	0	1	0	0			
	設計	0	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0			
	積算・申請	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0			
	報告書	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
	工事	0	0	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0			
	茅葺替 工事のうち	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0				
1	県 重要文化財	旧鈴木家住宅	診	設	工	工				報	(設)	屋																茅	
2	県 重要文化財	旧三澤家住宅	診		設	設	入札不調	工	工	報																		板	
3	県 重要文化財	旧山下家住宅		診		設	設			工	工	工	屋	(屋) 応急修				設	申	工	工	屋						3	茅
4	重要文化財	旧太田家住宅		診						設	設	申	工	工	屋	入札不調													茅 葺替 R3→4
5	県 重要文化財	旧菅原家住宅								診																		茅	
6	県 重要文化財	旧井岡家住宅																										瓦	
7	県 重要文化財	旧山田家住宅																										茅	
8	重要文化財	旧作田家住宅								診	設(基実)	申	申	工	工	屋	報												茅 葺替 R5→6
9	国重要有形民俗文化財	旧船越の舞台																										瓦	
10	重要文化財	旧佐々木家住宅																										茅	
11	重要文化財	旧江向家住宅																										1	茅
12	県 重要文化財	旧岩澤家住宅																										茅	
13	県 重要文化財	旧野原家住宅																										茅	
14	重要文化財	旧北村家住宅																										2	茅
15	県 重要文化財	旧清宮家住宅																										茅	
16	県 重要文化財	旧広瀬家住宅																										茅	
17	重要文化財	旧工藤家住宅																										2	茅
18	重要文化財	旧伊藤家住宅																										1	茅
19	市 重要有形記念物	佐地家供待																										瓦	
-	市 重要有形記念物	蚕影山祠堂																										茅	
-	市 重要有形記念物	水車小屋																										茅	
-	市 重要有形記念物	木小屋																										茅	
-	市 重要有形記念物	沖永良部の高倉																										茅	
-	市 重要有形記念物	船頭小屋																										茅	
-	市 重要有形記念物	原家																										瓦	

・工事の順番は、屋根の破損状況や災害被害等によって変更となる場合がある。
 ・委員会(日本民家園古民家等耐震委員会)は、耐震診断及び耐震設計の際に開催される。
 …「耐震診断結果に応じ判断するもの」
 設計～工事年度が未定のため、事業数にも計上していない。

令和5年度 川崎市立日本民家園事業計画・評価シート

■評価

つぎの3段階とする。

A: 目標を充分達成し成果を上げている

B: 目標を概ね達成している

C: 目標を達成しておらず改善が必要である

■令和5年度の重点目標

- ・第3期指定管理の円滑な運営開始
- ・日本民家園運営基本方針の策定
- ・文化財建造物の安全対策の推進

項目	令和5年度目標値	令和5年度実績	令和4年度目標値	令和3年度実績値
総入園者数	138,000人		138,000人	101,674人
有料入園者数(有料率)	67,620人(49%)		64,860人(47%)	47,559人(46.8%)
外国人入園者数	3,000人		2,000人	1,713人
総入園料収入	27,064,000円		27,064,000円	19,002,980円
WEBサイトアクセス数(英語版)	660,000件(20,000件)		640,000件(13,000件)	626,100件(11,770件)
来園学校数	160校		140校	135校
伝統工芸館藍染体験参加者数(伝統工芸館事業収入)	1,500人 (5,000,000円)		1,200人 (4,650,000円)	1,178人 (4,662,743円)

令和5年度

1 保存・研究・展示・普及活動

(1) 文化財の保存・調査研究の推進

現状： 25件の文化財建造物を移築復原し、長期計画を立てて補修工事を実施している他、日常的な維持管理業務として燻煙と清掃を行っている。総合防災事業は、消火設備・防犯設備の機器更新、耐震補強工事が進行中である。資料の整理・研究活動については、建築分野では大岡實博士文庫の保管状況を改善しながら資料整理を進めるとともに、耐震補強工事報告書の刊行を進めている。民俗分野では引き続き暮らしと家をテーマに調査を実施、報告書の刊行を進めている。

実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和5年度計画(目標水準)	【参考】令和4年度計画	今後の課題
1文化財建造物維持管理の推進	屋根修理工事(太田家・作田家・高倉完成まで) 園路排水整備工事(山下家周辺、工藤家 完成まで) 文化財建造物の適切な保存管理の推進(破損箇所随時) 文化財周辺環境の改善(支障木管理等)	作田家屋根修理工事(3年計画2年目) 伊藤家屋根修理工事(完成まで) 工藤家敷地園路排水整備工事(完成まで) 支障木管理(5年目) シロアリ調査(4年目)	高倉・佐々木屋根修理工事(完成まで) 太田家屋根修理工事(完成まで) 作田家屋根修理工事(3年計画初年度) 伊藤家屋根修理設計(完成まで) 山下家周辺園路排水整備工事(完成まで) 工藤家敷地園路排水整備工事(設計まで) 支障木管理(4年目) シロアリ調査(3年目)	
2総合防災事業・耐震補強工事の推進	耐震設計(井岡家) 耐震工事(太田家・作田家・井岡家) 既存設備(防災・三澤免震)定期点検・補修(各年1回)	作田家耐震工事(3年計画2年目) 井岡家耐震工事(予定) 三澤免震装置定期点検(1回) 消防設備点検(2回) 監視カメラ点検(1回)	太田家耐震工事(完成まで) 作田家耐震工事(3年計画初年度) 井岡家耐震設計(完了まで) 三澤免震装置定期点検(1回) 消防設備点検(2回) 監視カメラ点検(1回)	
3 収蔵資料の整理・調査研究の推進と成果の公表	本館地下収蔵庫の燻蒸実施(2年に1回) 民俗資料の整理推進(資料カードと現物のつき合わせ) 耐震工事報告書刊行(山下家・太田家) 「暮らしと家」調査(報告書2年に1冊刊行)	大岡関係新規収蔵資料整理 本館地下収蔵庫の燻蒸実施(完了まで) 民俗資料の整理推進(資料カードと現物のつき合わせ) 太田家耐震工事報告書刊行(完成まで) 「暮らしの家」調査(報告書刊行まで)	収蔵庫保存環境改善(収蔵庫内、入口周辺の定期的清掃) 伊藤家新収蔵資料の整理(追録刊行まで) 山下耐震工事報告書刊行(完成まで) 「暮らしの家」調査(聞き取り調査実施まで)	
評定意見				

(2) 展示の充実

現状：文化財建造物を野外展示し、それを補うため本館に展示室を設置している。各古民家では地域の民具や年中行事の展示を行っている他、囲炉裏での火焚きや生活用具の製作風景、さらには屋根の葺替えや耐震補強等の工事も展示の一環としてとらえ、作業風景を見せる工夫をしている。本館常設展示室では導入として日本の民家建築の基本を展示し、企画展示室では民俗や建築をテーマに年2回企画展を開催している。また、敷地内も展示として整備を進め、石造物を配置している他、民家の旧所在地に合わせた植栽や、景観にふさわしい案内板の設置を行っている。こうした展示には解説に英文を併記している他、12カ国語パンフレットや4カ国語音声ガイド(日英中韓)を導入し、外国人対応にも力を入れている。

実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和5年度計画(目標水準)	【参考】令和4年度計画	今後の課題	
1常設展示及び関連事業の充実	音声ガイドサービスの継続 園内展示整備(継続的美化、パネルのビジュアル化) 古民家解説の充実(古民家めぐり年24回、子供向けの定例化) 大規模工事ごとに見学会開催・解説パネル設置 生田緑地植生管理計画に合わせた古民家周囲の植込みや畑の整備 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画による視聴サービス	音声ガイドサービスの継続 古民家内展示の整備・充実 民家解説実施(24回) 子供向け民家解説実施(1回) 工事解説パネル設置(作田、伊藤) 園内の展示点検、改善(継続) 展示・ワークショップに使用する植物種整備(ニワトコ・タデ藍 継続) 展示環境維持のための除草(継続)	QRコードによるWEB版音声ガイドサービス(開始まで) 音声ガイドアプリをインストールしたタブレット端末の団体貸出サービス(開始まで) 車椅子でアクセスできない古民家内部の動画による視聴サービス(水車小屋、岩澤家、船越の舞台) 民家解説実施(24回) 子供向け民家解説実施(1回) 工事解説パネル設置(太田、作田、高倉) 園内の展示点検、改善(継続) 展示・ワークショップに使用する植物種整備(ニワトコ・タデ藍 継続) 展示環境維持のための除草(継続)		
2企画展示及び関連事業の充実	民家博物館としての特性を活かした企画展示開催(年2本) 一般の人が手に取りやすい解説図録の刊行(年2冊) それに伴う展示解説(会期中月1回)やワークショップの開催(年2本)	新企画展2本開催(前期:「東北の手仕事Ⅱー布ー」、図録は令和4年度後期と共通、後期は内容未定、図録刊行まで) 企画展示解説(一般向け10回、子供向け2回) 企画展における解説パネルの英訳シート作成(各企画展)	新企画展2本開催(前期は目録の追録刊行、後期は図録刊行まで) 一般向け企画展示解説(10回) 企画展におけるパネル類・配布物の日英併記(各企画展)		
評定意見					

(3) 教育普及活動の充実

現状： 教育普及活動として体験講座・ワークショップ等を実施、特に子どもや親子向けの行事、当日自由参加型の行事に力を入れている。また施設の特長を活かし、古民家の旧所在地と連携した事業として各地の芸能公演や物産展などを行っている。この他、学校との連携を進め、小学生の学習プログラムや中学生の職業体験の受け入れを行っている。また、民家園の運営を支える炉端の会(ボランティア)・民具製作技術保存会(市民活動団体)と協力者会議を開催し、事業運営の改善を進めている。さらに、指定管理者は伝統工芸館や古民家カフェの運営を行っている他、さまざまな自主事業を行っている。					
実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和5年度計画(目標水準)	【参考】令和4年度計画	今後の課題	
1 各種事業(講座・ワークショップ・催事)の充実	自由参加型・体験型事業の充実 生田緑地他館等との連携事業の充実(年2回) 旧所在地交流事業の実施(年1回以上) 伝統芸能公演の実施(年1回) 市民団体との連携による昔話公演(年25回)	体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り) 当日参加型体験事業(昔遊び、七夕他) 科学館との連携事業実施(七夕、月見) 旧所在地交流事業の実施(南砺市他) 伝統芸能公演の開催(1回) 昔話公演(25回)	体験講座の実施(竹細工、わら細工、機織り) 当日参加型体験事業(昔遊び、七夕他) 科学館との連携事業実施(七夕、月見) 旧所在地交流事業の実施(1回以上) 感染防止に配慮した伝統芸能公演の開催(1回) 昔話公演(25回)		
2 学校連携の充実	学校団体の体験・見学受入(年間150校) 学習教材の継続的な見直し 職業体験・総合学習等のプログラム受入 学校郷土資料室等整備支援(2校、メンテナンスの実施)	小学校向け体験プログラム・見学の受入(140校) 中学校の職場体験受入 学校に配置されているギガ端末の活用検討 博物館実習、実測実習等大学の利用受入 多摩区大学連携プログラムの受入(1校) 学校郷土資料室等整備支援(2校)	感染症流行下での小学校向け体験プログラム・見学の受入(140校) 中学校の職場体験受入 博物館実習、実測実習等大学の利用受入 多摩区大学連携プログラムの受入(1校) 学校郷土資料室等整備支援(2校)		
3 市民活動団体との連携	炉端の会、民技会との連携の強化 両者との協力者会議による運営改善(年1回) 生田緑地マネジメント会議・自然環境管理保全会議との連携(年7回会議出席)	協力者会議開催(1回) 感染症流行下でも継続可能な、なおかつ初めての人でも参加しやすい炉端の会の新たな会員募集方法の実施(通年) 民技会新人研修(1回) 生田緑地マネジメント会議・自然環境管理保全会議への出席・意見聴取(7回)	協力者会議開催(1回) 炉端の会入門講座開催方法見直し 民技会新人研修(1回) 生田緑地マネジメント会議・自然環境管理保全会議への出席・意見聴取(7回)		

<p>4伝統工芸館・自主事業の充実</p>	<p>本藍の継続的使用のためスタッフの技術向上(研修継続) 藍染めの魅力の情報発信 自主事業の充実(年5回以上) 古民家カフェの運営(継続) 指定管理者変更になった場合の円滑な移行 コロナ終息後、外国人向け藍染めプログラムの再開</p>	<p>伝統工芸館の安定的な運営継続 出張ワークショップの実施 体験・講座のスムーズな申込みためのシステム導入 SNSを使用した伝統工芸館からの情報発信 染織技術の研修受講(1回) ミニ展示開催(5回) 展示品の販売(Tシャツ他) 草木染めと藍染めの新商品の開発(5点) プロジェクションマッピング(約1か月) 自主事業イベント開催(ベーゴマ大会他) 古民家カフェ(継続) 通販事業への積極的な取り組み(新商品の追加、広報強化)</p>	<p>染織技術の研修受講(1回) 絞り染め、型染め講座開催(5回) 出張ワークショップ(2回) ミニ展示開催(5回) 展示品の販売(Tシャツ他) 草木染めと藍染めの新商品の開発(5点) プロジェクションマッピング(約1か月) 自主事業イベント開催(ベーゴマ大会他) 古民家カフェ(継続)</p>		
<p>評定意見</p>					

2 運営・管理活動

(1) 博物館経営の強化

現状：平成25年度より指定管理者制度を導入し(5年毎に更新)、学芸業務と全体の統括業務は川崎市が、管理運営業務と広報業務を指定管理者が担っている。市の職員、指定管理者の職員、いずれも資質向上のため各種研修に積極的に参加し、来園者の満足度向上を目標にリピーター確保のための工夫を重ねている。					
実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和5年度計画(目標水準)	【参考】令和4年度計画	今後の課題	
1運営体制の整備・研修の充実	民家園運営基本方針の策定(完了まで) 研修機会の確保(市職員年1回以上) 事業評価の実施と活用(毎年実施・公表) 次期指定管理への円滑な移行(現指定管理は令和4年度まで) 民家園ルールブックの整備(継続)	第3期指定管理者との協力体制構築 第4期指定管理に向けた飲食施設取扱の継続した検討 運営基本方針の策定(完了まで) 庁内外の研修への参加(市職員1回以上) 新規スタッフの園内研修実施(随時) 事業評価の実施と活用(実施と公表) 民家園ルールブックの整備(継続)	運営基本方針の策定推進(ソフト面の計画作成、文化財保存活用地域計画との調整) 庁内外の研修への参加(市職員1回以上) 新規採用者の園内研修実施(随時) 事業評価の実施と活用(実施と公表) 次期指定管理者の選定と円滑な移行に向けた準備(契約手続き、移行準備完了まで) 様々な対応を明文化した民家園ルールブックの整備(継続)		
2広報の強化	公式サイト充実 Twitter・YouTubeを活用した広報 生田緑地他施設・他局・観光協会・地元商店会・神奈川県等と連携した広報 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報の充実 指定管理者変更になった場合の公式サイトの円滑な移行 コロナ終息後の訪日外国人に向けた広報	公式サイトの円滑な継続 Twitter・YouTubeの継続的な広報活用 Twitterフォロワー数の増加(総計3000人) 指定管理者構成企業のルート等を活用した広報 広報先の見直しと新規広報先の開拓 大型行事(プロジェクトマッピング)に合わせた経済労働局や企画会社と連携した広報	YouTubeに民家園関連民俗映像記録を掲載(10本) 生田緑地お出かけチケットの販売に伴うまちづくり局や鉄道会社と連携した広報 大型行事(プロジェクトマッピング)に向けた経済労働局や企画会社と連携した広報		
評定意見					

(2) 利用者の利便性・安全性の向上

現状： 来園者サービス施設として救護室や授乳スペース等を整備、ベンチやテーブル等のリニューアルも進めている。また、バリアフリー化として古民家の敷居にスロープを用意、園路についても手すりの設置や土舗装化など対応を進めている。この他、来園者へのサービス向上のため、ショップの充実と窓口業務の改善に努めている。危機管理については各種防災訓練を実施、危機管理マニュアルを随時更新している。

実施目標	中期目標(3年、R6まで)(目標水準)	令和5年度計画(目標水準)	【参考】令和4年度計画	今後の課題
1来園者サービスの向上	休憩スペースの充実とメンテナンス 民家園の特色を活かした継続的な商品開発(毎年2点) 指定管理者変更になった場合のショップの円滑な移行 さまざまな来園者に配慮したハード面、ソフト面での環境の整備(バリアフリー、外国人対応)	真夏の猛暑に対応した本館、古民家土間の休憩スペース充実 民家園の特色を活かした新商品・カプセルトイの開発(5点) 窓口の安定的なサービス継続 キャッシュレス決済の導入 ショップの安定的な運営継続 園路の整備(工藤家周辺) 小さな「バリア」の継続的点検と逐次対応	露天ベンチの改修(腐朽したもの) 民家園の特色を活かした新商品・カプセルトイの開発(5点) バリアフリーのソフト面での対策として車椅子でアクセスできない箇所の動画配信(水車小屋、岩澤家、船越の舞台) 園路の整備(佐々木家からトンネルまで)	
2危機管理体制の整備	園路危険箇所の定期的な点検 危機管理マニュアルの継続的更新 消防署との連携による防災訓練の実施(年4回) 電気系統の定期的な点検 新人警備員の研修充実 来園者の避難経路の再確認	園路危険箇所の点検・対応(逐次) 運営に伴うリスク因子の総合的な整理と危機管理マニュアルの逐次更新 新規スタッフも含めた危機管理マニュアルの再共有 ボランティアや清掃スタッフも含めた防災訓練実施(年4回) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回) 新規採用警備員・清掃スタッフの研修実施(逐次) ナラ枯れに伴う落枝・倒木の継続的な点検	園路危険箇所の点検・対応(逐次) 感染症対策の徹底継続と感染症対策を含めた危機管理マニュアルの増補(逐次) 防災訓練実施(年4回) 古民家の漏電対策として継続的な点検の実施(各棟1回)	
評定意見				